

わが校の歴史から

長い歴史に幕・統合 新たに「富山市立八尾中学校」へ

富山市立八尾中学校

清し 雄々し 光れ



昭和22年4月、組合立八尾東部中学校、八尾西部中学校が開校した。翌昭和23年には、八尾東部中学校と八尾西部中学校が統合し、組合立八尾中学校が発足し、この年に校章が決定した。校章の赤の「八」は若人の情熱と意気、コバルトの「星」は南十字星と博愛の精神、白の「中」は高尚、潔白、中庸を表している。その後、昭和42年に桐谷分校が、昭和43年には大長谷中学校折折分校が統合され、さらに昭和45年には教場として発足した野積中学校、仁歩中学校が、昭和49年には大長谷中学校が統合された。そして、平成17年の市町村合併により、富山市立八尾中学校と改称され、閉校となる令和3年度末までに約19,000名の卒業生を輩出している。旧校歌に歌われている「清し、雄々し、光れ」の気持ちを忘れず、「おわら風の盆」、「曳山」に代表される、地域に根付いた伝統文化に誇りをもち、八尾地域の活力となり、地域から応援される学校になることを願っている。

長い歴史に幕・統合 新たに「富山市立三成小学校」へ

富山市立三郷小学校

新しい仲間と切磋琢磨して



本校は、明治6年に新堀小学校、一田中村小学校の2校が誕生したのが原点です。その後、分離、統合が行われ、明治38年現在の地に、三郷尋常小学校として開校しました。

本校区は南北に約6km、東西に約5kmと広いですが、子供たちは毎朝集団登校をしています。どの登校班の班長も学校に着くと、後ろに並んでいる下級生に「今日も一日頑張りましょう」と声を掛け、その後、班毎に本校の伝統である挨拶運動に参加しています。子供たちの明るくて元気な挨拶の音が前庭に響き、辺りを爽やかな空気で包んでいます。

現在の校舎は、平成27年に完成しました。明るく広々とした素晴らしい環境の中で、子供たちは「みんなでチャレンジ!みんなが輝く太陽っ子」を目指して学校生活を送っています。令和4年度より、現校舎を使用して三成小学校として新たにスタートします。自他のよさを認め、新しい仲間と切磋琢磨して、よりよい校風を築いていってほしいと願っています。

長い歴史に幕・統合 新たに「高岡市立高陵小学校」へ

高岡市立定塚小学校

ふるさと定塚への誇りと愛着をもって



本校は、明治34年4月に定塚町尋常小学校として誕生しました。校歌に「鳳凰鳴けり 高岡に 古城のほり 座を占めて」と歌われているように、加賀藩主前田利長公が開いた高岡の町の中心に位置しています。校区には高岡古城公園をはじめ、高岡市美術館等の公共施設があり、自然や文化に触れる機会に恵まれています。子供たちは明るく素直で、何事にも精一杯取り組む姿がみられます。

今年度、創校120周年を迎えました。今日に至るまでの間に18,800余名もの卒業生を送り出してきた本校は、令和4年3月をもって閉校を迎えます。そして、4月から高岡市立平米小学校との統合により「高岡市立高陵小学校」として新たな歩みを始めます。これまで諸先輩方が築いてこられた校風と伝統を新しい小学校に引き継ぐとともに、子供たちには、生まれ育ったふるさと定塚に誇りと愛着をもち、自らを支えてくださっている方々に感謝できる人に育ってほしいと願っています。